

畑の土を起こすシズさんを、娘の風菜ちゃん、美空ちゃんがお手伝い。ここにご主人も加わり、家族総出で作業を行います



子どもの教育にはもちろん、地域貢献も目標に

土に触れ、作物を育てることは子どもがのびのびと成長し、生命の大切さを学ぶ絶好の環境。今後は、地元の人を集めて収穫体験を行ったり、地元レストランやスーパーへの食材提供など、農作業を通じた地域貢献にも力を入れていきたいそう。

- 1_一番の楽しみはやはり収穫時。08年秋は、2万個の玉ネギの他、サツマイモやジャガイモなどが豊作でした
- 2_ハウスで栽培中のほうれん草。安心・安全を考え、農薬を極力使わないようにしているため、草取りも手作業



子どもと一緒に汗を流すのが楽しい！

実は、

柴田シズさん

Shizu Shibata

企業のウェブ制作や各種広告物を手掛ける会社「イフ・ノレット」代表取締役。09年春に小学6年生と4年生になる2児の母であり、趣味は農業とスキー。

農作業歴10年超

仕事、家庭、農作業
3つそれぞれが良い関係

平日は経営者、家庭に戻れば2児の母でもあるシズさん。そんな忙しい日々を送る彼女の週末の楽しみは、「農作業」なのだそう。10数年前、雑草対策にと軽い気持ちで植えたカボチャが実を結び、農耕の楽しさに開眼。今では1500坪もの畑を管理し、08年からは市場にも出荷する本格派です。「家族で力を合わせて作物を育て、その恵みをいただく贅沢は、他では得られないもの。それに自然の中で無心になって体を動かした汗を流せば、仕事で疲れた頭がリフレッシュできるだけでなく、フィットネス効果も！」。農耕は、シズさんが心身のバランスを保つために大きな役割を果たしています。



オフィスでの仕事風景。従業員は全員女性で、家庭の事情に合わせて在宅ワークを任せるなど「女性が働きやすい職場」がモットー